

編集・発行責任者；木下耕一 〒157-0066 東京都世田谷区成城 8-24-1 - A-201
Fax&Tel 03 - 3482 - 5257 / E-Mail ; kino-coh1@amy.hi-ho.ne.jp

『かたつむり事業報告会』開かれる

嬉しいニュースをお伝え
できるのでは、との微かな
期待をいただいで参加した
報告会でした。

一番目は、共同作業所と
しての活動報告。かたつむ
りの作業は、企業の下請け
行政の契約作業、自主製
品加工・販売の三つに分か
れています。しかし、景気
低迷が続く昨今は、二期
待することができず、どう
しても、頼りの運営になっ
ています。（国分寺市から
市内公園清掃そして都から
立川ろう学校清掃を業務委
託されている）

一番目は、かたつむりの
行事報告として、夏のキャ
ンプが中止になった事が報
告されました。会として持
ち出しているボラの参加費
負担が負いきれなくなった
との理由でした。ボラ自身

に負担させるわけにはいか
ないから、との説明でした
が、Pウォークのように資
金援助ボラを募るなど何か
方法はないものかと感しま
した。また、運動会につ
いては、文化交流会に衣替
え。これは行政からの補助
金がらみの策とのこと、
基本的な考え方に変わりは
ありませんでした。

そして三番目にたましろ
の郷交渉経過が報告されま
した。奥多摩町の城地区を
断念後、広く三多摩地域全
体に候補地を広げて探して
きました。が、ようやく青梅
に良い場所が見つかったと
のこと。現在地元自治会の
建設同意書を得るための最
終交渉中とのことでした。
（昨夜、『建設同意』が
得られたとの緊急連絡があ
りました。嬉しい！）

たましろの郷建設に向け
ての五つのステップは、
売渡承諾書（済み）、建設
同意書（ここまで来た！）

青梅市の特別委員会の審
査、東京都の承諾（福祉
局は、待つてくても財務
局が何と言うか？大きな運
動が必要となります）、厚
生省（ろう重複者のための
施設の必要性は認めてくれ
ている。全日ろう連などと
共に全国的な運動を！）

まだ厚い壁が三つもある
との説明でした。

さらには建設費用の不足
についても前回の試算を元
に計算しても一億三千五百
万円も足りない現状が報告
され、これは何としても年
末ジャンボ宝くじを当てな
くてはと思いました。

また、施設の性格につい
て、これまでの就労施設に
加え『更生施設』としての
機能を加えたいとの説明が
ありました。たくさんの方

疑がなされ、その全てをこ
こで紹介することはできま
せんが、今かたつむりに通
う仲間たちが入る生活の
家としての施設になって欲
しいという願いを強く感じ
ました。今後は『身体障害
者の入所更生・就労（授
産）と通所が併設』された
施設をめざすとのこと。

最後に『組織構造への取
り組みと課題』についての
話し合いがありました。こ
れは、施設ができた後を見
通した「次」を考えていこ
うというものです。具体的
には、たましろの郷をどの
ように運営していくのか？
どのような運営組織が必要
かについての問題提起でし
た。

これから取り組んでいか
なければならぬ課題の多
さに少なからずメゲた報告
会でしたが、気合い入れな
おして頑張ろうと思いまし
た。